

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましい生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

第26号 H27. 1.19
 発行者 甲斐昭晃
 ☎ 23-3611

未 年にちなんで、羊の生態や「未」の文字を今年の願いに重ねてみました。【羊は群れをなして行動する】家族の安泰や平和をもたらす年になりますように。【羊の視野は270~320度】世の中を広い視野で見て考えることができますように。【「未」は枝が茂っている木の形で、まだ枝が伸びきっていない部分を描いたもの】葉が茂り栄えるように、子どもたちの心と身体がさらに大きく育ちますように。
 2015
 こんな1年にしたいと思っています。

◆ 新春根性行進・設立会・どんど焼き (1/11) ◆



歩いて…

語り合っ…



祈って…

休んで…



祈願して…

奉納して…



参加して…

ごちそうになって…



楽しい1日でした。

少し風が強かったものの、天候に恵まれた新春の1日、全員が12kmの行程を歩き通しました。

途中、菅原神社と霧島岑

神社にお参りし、それぞれの夢や願いを祈願しました。

まきばでは、細野まちづくり協議会の設立会に参加し、中学生代表として田中大和くん(2年)が設立宣言を朗読しました。お母さんたち特製の豚汁を何杯もごちそうになった後は、伝統行事のどんど焼きに参加。青竹のはじける音に驚きながらもお餅を焼いて食べました。

「細野まちづくり協議会設立宣言」より中学生と小学生の朗読部分

わたしたちの暮らす細野地区は、春に霧島の峰風に桜が舞い、夏にホタルが川面を照らし、秋には黄金の稲穂が実り、冬になればひなもりの空に星が輝くとても素敵なまちです。

そんなわたしたちの細野では、地域の皆さんが夏祭りや農業体験、学校行事等、大切な思い出をいっぱいつくってくれます。みんなが笑顔であいさつしてくれる「ほその」が大好きです。

重大な事故・災害(1件)
 軽い事故・災害(29件)
 ヒヤリ・ハット(300件)

「重傷」以上の災害が1件あったら、その背後には、29件の「軽傷」を伴う災害が起り、300件もの「ヒヤリ・ハット」した「ケガのない災害」が起きていたことになる。

ハインリッヒの法則です。先日、体育館でバスケットボールを蹴って遊んでいて天井の蛍光灯を壊すという事件がありました。そこで思い出したのがこの法則。

蛍光灯にボールが当たって壊れるまでには、これまで何十個、何百個ものボールが飛び交い、そこには何人もの人が加わっていたらと想像されます。大きな事故は小さな過ちの積み重ねです。今回のことが次の事故をなくすきっかけになればと思っています。

お昼の放送で「残念な話」として伝えました。

◆ 中学校入学説明会 (1/15) ◆

6年生と保護者が出席して、細野小学校で行いました。テーマは、入学までに「準備しておくことや心構え」「できるようになっておいてほしいこと」の二つ。学習面や生活面に関わる話をしました。

でも、これは6年生だけの問題ではありません。中学生にも進級や進学までにできるようになっておくことがありますね。なんとなく進級・進学をしないように！

パイ・フワード ~ 小さな幸せのおすそわけ ~

人から受けた厚意を相手に返すことはパイ・バック(恩返し)。これに対して、お世話になった相手ではなく、他の誰かに自分の思いやりを伝えていくことをパイ・フワードと言います。

他人から受けた好意を別の3人へと贈っていく…ひとりの少年が考えたこのアイデアがやがて世界を変えていく「パイ・フワード」という映画が、昔ありました。

「気をつけて行ってらっしゃい」の横断幕を手に、毎朝、通過する車にあいさつをする子どもたち。横断歩道で止まった車に必ず頭を下げる子もいます。こういうことに出合った人のいくらかは、「自分も他の人に…」という気持ちになるかもしれません。

「あいさつ運動」には、自分たちが変わるだけではなく、世の中をも変える力があると信じています。

お知らせ

□ 市内でインフルエンザが流行しています。本校でも罹患者が数名出ており、これから心配です。うがい、手洗い、消毒、換気、マスクでの防御を徹底しましょう。

今日から、班で向かい合っの給食はしばらく休止。咳やくしゃみのウイルス飛散距離は1.5~3メートルで、1回あたり5000~30000程度のウイルスが飛んでくるそうです。

□ 2年生が2月18日に行う立志式の準備をしています。実行委員会が決めたスローガンは「今とは違う新しい自分へ~輝け十四歳」。委員長は本市汐南さん(2B)、委員は今別府晴弥くん、町浦歩夢くん、深井麻友香さん(以上2A)、富満秀斗くん、中嶋碧海くん、中山久瑠くん、内満悠香さん(以上2B)です。

【立志式】 武家社会で行われていた元服にちなんで、数え年の15歳を祝う行事。将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深めるという目的があります。

県内ではほとんどの中学校で実施されています。

